

## BFGoodrich がダカール・ラリー復帰を宣言

BFGoodrich はダカール・ラリーの公式タイヤサプライヤーとして

「世界のダートを走破すること」を目指します

BFGoodrich は 1976 年に初めてオール テレインのラジアルタイヤを開発し、世界中のオフロードレースで勝利を収めてきました。その栄えある勝利の歴史を再現するため、2016 年 10 月 4 日、オフィシャル タイヤサプライヤーとして 2017 ダカール・ラリーに参戦することを宣言しました。

BFGoodrich タイヤは 2012 年以来 5 年ぶりに競技参加車両に採用され復活を果たすこととなります。さらに BFGoodrich ダカール・サービス・センターを各地に開設し、競技参加者は 24 時間いつでも専門的な技術サービスを受けることができます。ダカール・ラリーは 2 週間にわたってレーサーに立ちほだかる起伏の激しい地形や予想もつかない事態、さらに 3 か国を跨いで行われる 5,000 マイルを超える過酷なレースです。このレースへの挑戦は BFGoodrich が求める実験場そのものです。

「BFGoodrich には長い間培ってきたレースの伝統があります。私たちはダカール・ラリーに正式に復帰することを機に世界中で行われるダート・レースに引き続き参戦出来ることに対してワクワクしています。」とミシュランおよび BFGoodrich のモータースポーツディレクター、パスカル・クアノンは語っています。「クロスカントリー・ラリーは他に例のない難関で、地球上の最も複雑な地形を舞台としていることが特徴です。BFGoodrich が参加する異種のレースの場合と同様、私たちの姿勢はこの分野においても変わりはありません。地球上で最も厳しい条件に挑戦する一方で、世界中のレースに参加することから学ぶすべての技術的情報を、新しいテクノロジーの開発や当社製品のたゆまぬ改善のために活用し続けます。」

2017 ダカール・ラリーで使用される BFGoodrich タイヤには、世界中でレースに使用され、テストされた製品が含まれます。

## PRESS RELEASE

**BFGoodrich All-Terrain KDR2** : クロスカントリー・ラリー用に製造された特製レーシングタイヤ。特性はBFGoodrich Baja T/A KR2 と類似した点もありますが、このタイヤは一段と軽量のデザインと斬新なトレッドパターンが特徴です。比較的軽量の車両におけるハンドリング性向上の要望に応える設計になっています。当製品はダカール・ラリーで優勝したプジョー2008DKR16 や TOYOTA GAZOO Racing チーム向けに設計されています。

**BFGoodrich All-Terrain KDR** : BFGoodrich All-Terrain KDR2 と同種のタイヤですが、あらゆる地形に対してグリップ力を発揮するとともに、快適な運転性能、一段と安定したブレーキ性能を実現します。当製品は、特に TOYOTA Overdrive Racing、Mini X-Raid、Mini ALL4 などの各チームが使用した四輪駆動車に見られたサイドウォールへの過重な負荷に耐えうるよう設計されています。

**BFGoodrich Baja T/A KR2** : バハ砂漠を制した実績のあるタイヤで、ダカール・ラリーでも二輪駆動のバギーに乗ったレーサーを支えています。柔らかい地面での最大限の摩擦力、サイドウォールの損傷に対する最高の防護性能、バランスの取れたブレーキ性能とコーナリング性能を発揮する設計になっています。

BFGoodrich はダカール・ラリーに参加するおよそ 300 台の車両に対してタイヤを供給します。このレーシングタイヤはダカール・ラリーの過酷な環境に耐えうるよう設計、製造されています。このテクノロジーは、次のステップとして、当ブランドのレーシングタイヤと類似したコンパウンドと構造を持った消費者向けタイヤに活かされます。またダカール・ラリー用のタイヤと最新の消費者向けタイヤのいずれも、アラバマ州タスカルーサの同じ BFGoodrich の工場で製造されます。

このように幾多の困難と努力によって習得した「ノウハウ」は BFGoodrich のレーシングタイヤから、耐久性能と最高のトラクションを持つよう設計された高評価を得ている All-Terrain T/A<sup>KO2</sup> などの消費者用モデルへと継承されます。

ダカール・ラリーは世界で最も過酷なイノベーションの実験場と言えるかもしれません。しかし BFGoodrich はただ学ぶだけではなく、勝利を得るためにレースに参加するのです。

**BFGoodrich**<sup>®</sup>  
Tires

## PRESS RELEASE

1993年のパリ・ダカール・ラリーのクラス別優勝を皮切りに、その後は2002年から2012年まで10回の連勝を含め、全部で12回もの同ラリー優勝を飾りました。

- **1993年**：BFGoodrich はジャン・ルイ・シュレッサーが運転する FIA オフロードラリーワールドカップ 2 輪駆動部門およびパリ・ダカール・ラリーで優勝。
- **1999～2000年**：BFGoodrich はジャン・ルイ・シュレッサーがドライバーとなりダカール・ラリーで優勝。
- **2002～2003年**：BFGoodrich は増岡浩がドライバーとなり三菱パジェロでダカール・ラリー優勝。
- **2004年**：BFGoodrich はステファン・ペテランセルがドライバーとなり三菱パジェロでダカール・ラリー優勝、さらに1位から3位までを独占。
- **2005年**：BFGoodrich はステファン・ペテランセルがドライバーとなり三菱パジェロでダカール・ラリー優勝。
- **2006年**：BFGoodrich はリュック・アルファンがドライバーとなり三菱パジェロ／Montero Evo でダカール・ラリー優勝。
- **2007年**：BFGoodrich はステファン・ペテランセルがドライバーとなり三菱パジェロ／Montero Evo でダカール・ラリー優勝。
- **2009年**：BFGoodrich はジニエル・ドウ・ヴィリエールがドライバーとなりフォルクスワーゲン・トゥアレグでダカール・ラリー優勝。
- **2010年**：BFGoodrich はカルロス・サインツがドライバーとなりフォルクスワーゲン・トゥアレグでダカール・ラリー優勝。
- **2011年**：BFGoodrich はナサール・サレ・アルアティヤがドライバーとなりフォルクスワーゲン・トゥアレグでダカール・ラリー優勝。
- **2012年**：BFGoodrich はステファン・ペテランセルがドライバーとなりミニクーパーでダカール・ラリー優勝。

### BFGoodrich について

100年を超える伝統を持つ BFGoodrich は、あらゆる環境下で車を走らせたいという情熱を持つ人々のために高性能タイヤを提供することを使命としています。BFGoodrich は技術的ノウハウを45年に及ぶモータースポーツでの経験と融合させることにより、超高性能ストリートタイヤからオフロードタイヤまであらゆる走行に適したタイヤを、「最高のパフォーマンス」という共通のテーマに基づいて提供します。BFGoodrich でお車のパフォーマンスアップを図ってはいかがでしょうか。( [www.bfgoodrichtires.co.jp/](http://www.bfgoodrichtires.co.jp/) )

**BFGoodrich**  
Tires